

キオクシアの現在地：AI需要による過去最高業績と次世代メモリへの布石

AI推論向け需要を追い風に、2025年度に過去最高業績を達成し、一時は時価総額で日本企業首位に。主力3D NANDの技術的優位性と、将来の戦略的なオプションでMRAMへの期待、そして「NAND一本足」のリスクという多面的な現状を概観する。

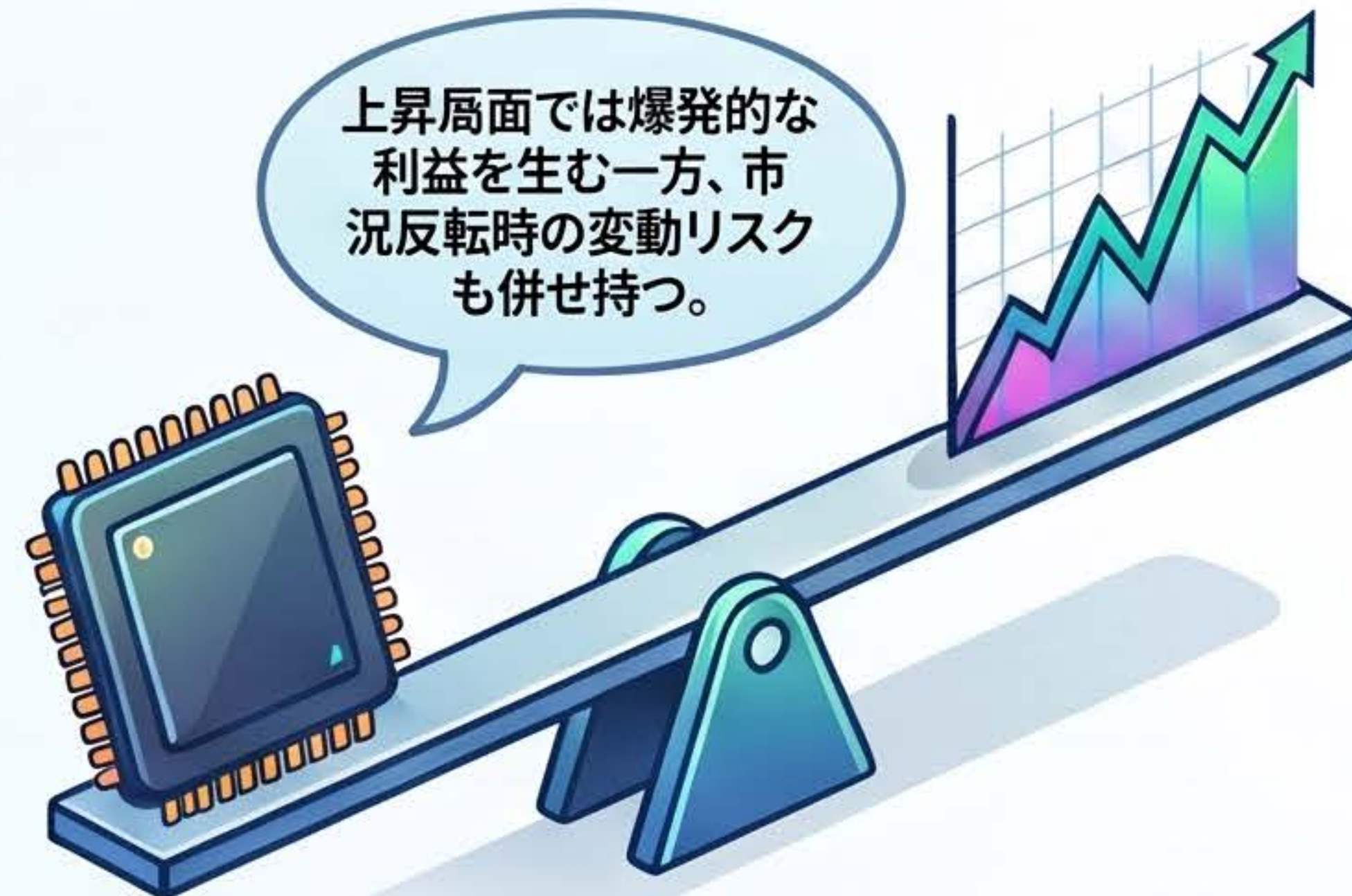
市場・財務の圧倒的プレゼンス



AI推論向け需要の急増により、売上・利益ともに過去最高を更新。



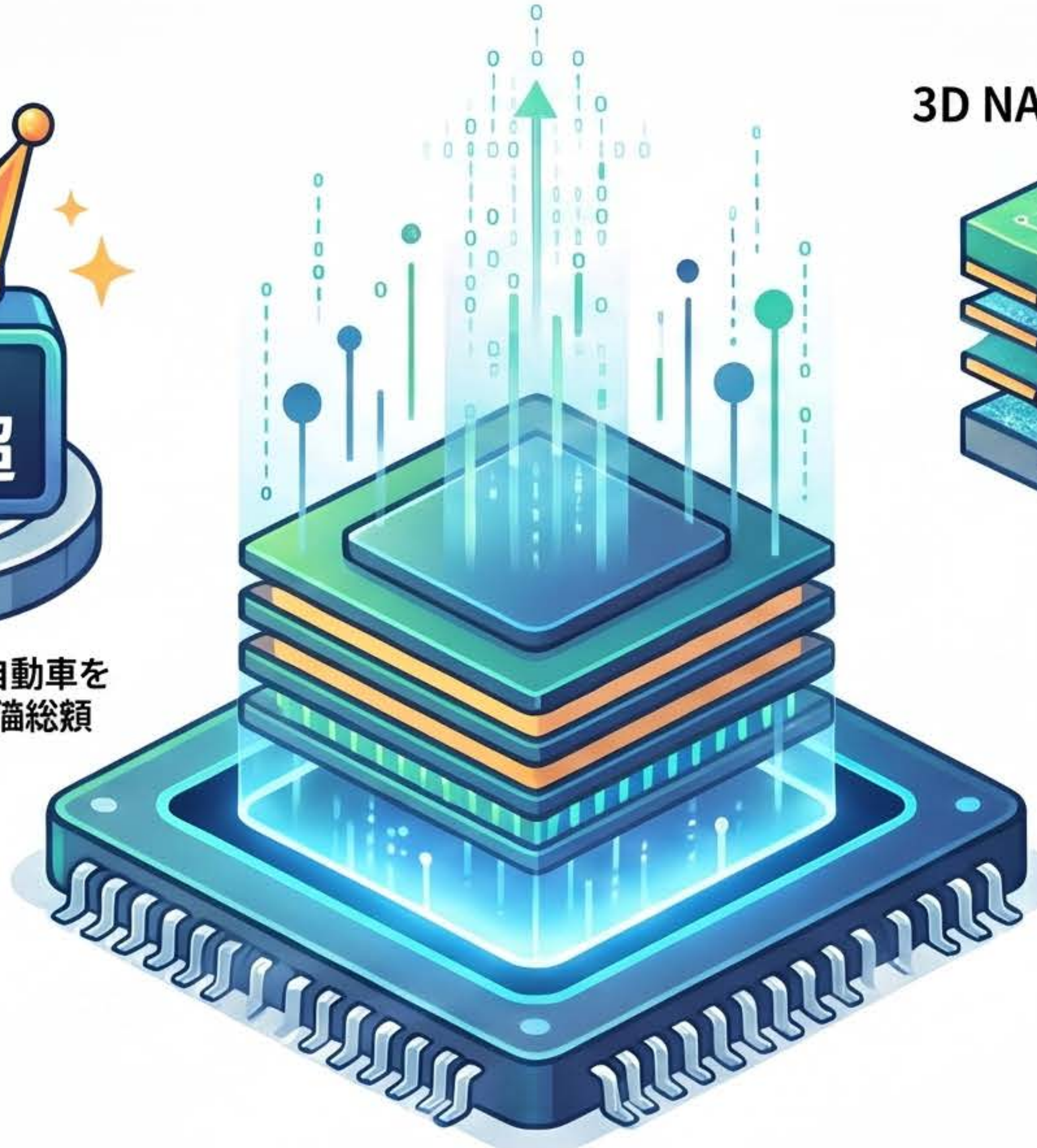
2026年6月時点でトヨタ自動車を上回り、一時的に国内時価総額トップを記録。



上昇局面では爆発的な利益を生む一方、市況反転時の変動リスクも併せ持つ。

「NAND一本足」構造のレバレッジ

上昇局面では爆発的な利益を生む一方、市況反転時の変動リスクも併せ持つ。

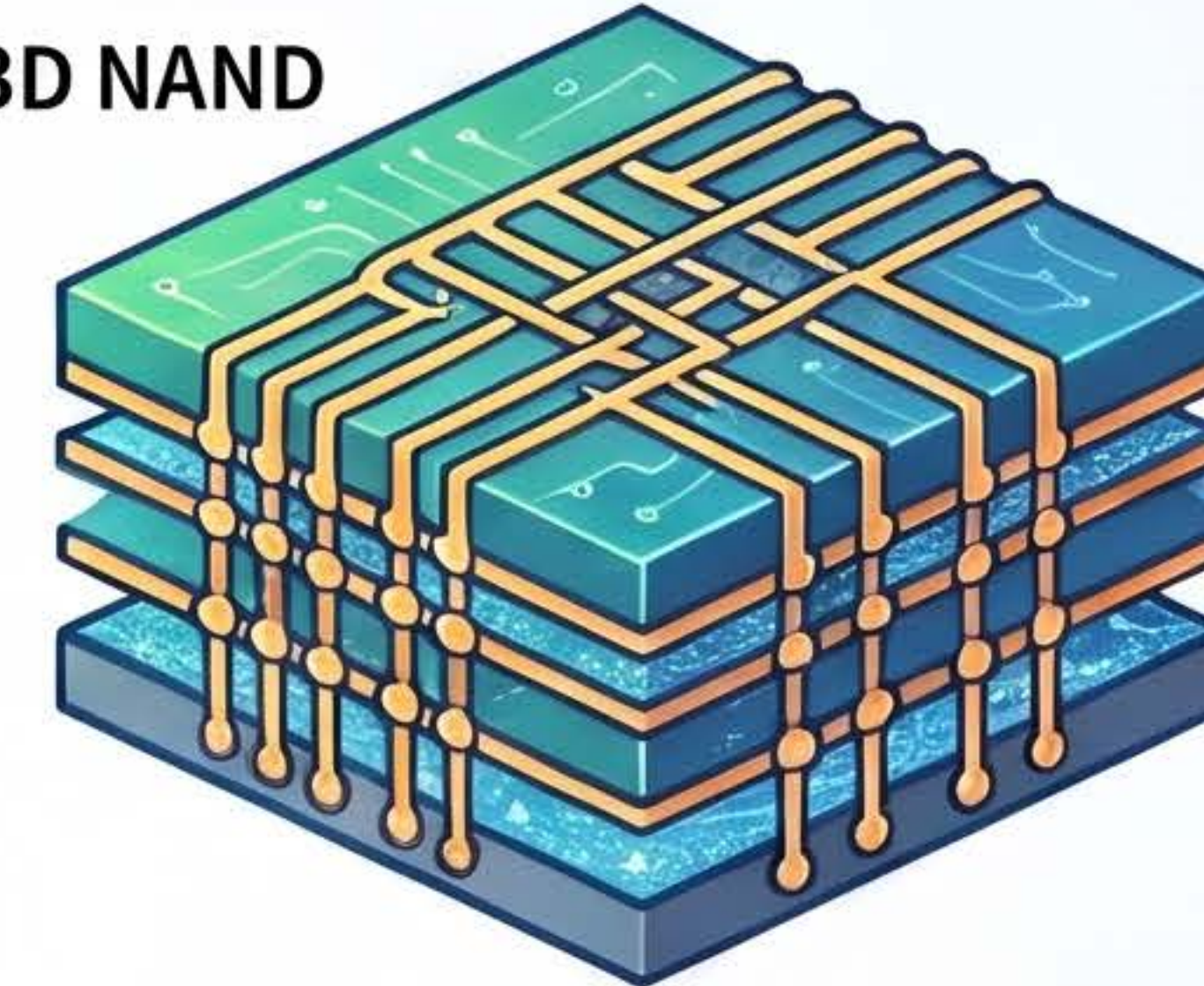


3D NAND (BICS FLASH) の進化と性能向上

世代	ビット密度向上	特徴・技術
第8世代	基準	CBA技術の量産適用開始
第9世代	+8%	投資コスト抑制と高性能の両立
第10世代	+59%	332層+平面高密度化

技術優位性とIP (知的財産) 戦略

3D NAND



CBA技術による2～4年の先行優位

CMOSとセルを別々に製造し貼り合わせるCBA技術で、競合他社をリード。



MRAMは「将来の戦略的オプション」

量産化は未定ながら、64Gbit級の試作に成功し、メモリ階層の変化に備える。



世界14,000件超の強固な特許網

3D NANDの製造プロセスと、積層技術における高い参入障壁を構築。